



筑波出荷センター

物流

確実に、そして環境にやさしい方法でお届けする。

理想科学は、製品を確実にお客様にお届けするとともに、製品輸送時の環境負荷を抑えるために、物流の効率化、省エネ・省資源に取り組んでいます。

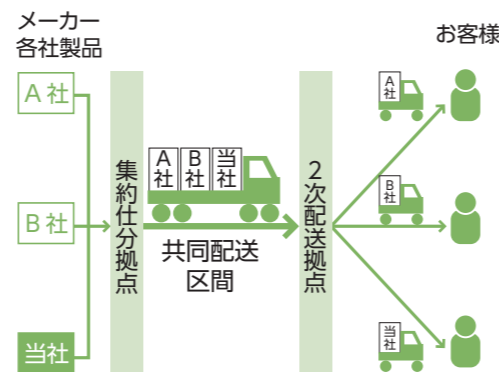
物流の効率化・システム化を推進

製品をお客様の元へ正確な期日でお届けするためには、物流の効率化・システム化が不可欠です。理想科学は、国内・海外をさまざまな輸送手段でつなぎ、物流の最適化を図っています。

複数の企業との共同配送を行い、積載効率の向上と最適配送による燃料消費の低減に取り組んでいます。また、海外工場や販売網への製品輸送も、SCMの運用により製品の在庫が切れたり、過剰にならないようスムーズな物流に努めています。これにより倉庫での滞留や航空機による特急輸送をなくすことで、コスト削減と環境負荷低減の両立を図っています。

さらに、工場でも、定時運行のトラックが近郊のサプライヤーを巡回して部品や原材料を集荷するとともに、納品用の空箱を返送して輸送・調達の効率化を図るなどの取り組みを進めています。

共同配送のしくみ



物流時の環境負荷低減を積極的に実践

物流の効率化を図り、配送のムダをなくすことは、物流時のCO₂排出が抑制され、環境負荷低減につながることから、積極的に取り組んでいます。

また、製品の出荷時にリターナブルラックや金属ラックなど繰り返し使える運搬資材を用いることで、ダンボールや発泡スチロールなどの使い捨て梱包材の使用量を削減しています。

中国においても、デジタル印刷機の梱包材をコンパクト化することにより、積載率向上と輸送エネルギーの低減、廃棄物の削減を実現しました。



より詳しい情報は、以下をご覧ください

- 国内全体の委託貨物輸送量内訳とモーダルシフト率の推移 ▶P.34
- リターナブルラック使用率と使い捨て梱包材削減量の推移 ▶P.34
- 委託貨物輸送によるCO₂排出量の内訳 ▶データブック [Web](#)
- 共同配送による使用燃料(軽油)および累積CO₂の削減量 ▶データブック [Web](#)



リターナブルラックによる発送



回収されたリターナブルラック

TOPICS

物流倉庫の照明をLEDに切り替え

2011年12月、筑波出荷センター内の照明を、水銀灯に比べて消費電力の少ないLED照明に切り替えました。水銀灯は、電源をつけてから明るくなるまでに時間がかかることから、稼働時間中は常時電気をつけていましたが、LED照明への切り替えによって、光源の違いによる消費電力の削減に加えて、必要な時間に必要箇所のみの点灯ができるようになったことで、さらに電力使用量が削減されました。



LED照明